

令和 8 年度豊明市地域福祉計画推進委員会 議事要旨

日 時：令和 8 年 7 月 23 日（木）午前 9 時 30 分から午前 11 時

場 所：豊明市役所新館 1 階会議室 4

出席者：8 人 欠席者：4 人 傍聴者：なし

1 委員長・副委員長選出

互選により加藤誠委員が委員長、近藤俊秀委員が副委員長となる。

2 あいさつ

正副委員長よりあいさつ

3 議事

（1）豊明市第 3 次地域福祉計画・第 5 次地域福祉活動計画等の評価について

▶基本施策の実績について

- ・地域福祉計画、地域福祉活動計画について事務局より説明
- ・質疑応答

（委 員）豊明市は、ひきこもりに関する事業が活発と感じている。地域福祉活動計画の通し No.37 について、ひきこもり状態にある人の実人数はどうなっているか。また、居場所への参加者は増えているかや、居場所に関する具体的な周知方法を聞きたい。

（事務局）スワローは約 12 名、山ノ神集会所版スワローは約 5 名が実人数。大きな人数の変動はないが、少しずつ増加している。周知方法については、市社協ホームページや SNS、民生委員・児童委員定例会など関係各所での周知など、必要な人に届く方法を模索しながら行っている。

（委 員）これらの情報発信が、どの程度市民へ伝わっていると認識しているか。

（事務局）市民にどれだけ情報が伝わっているかは、肌感覚としては足りていない。他自治体と比較しても、情報発信の仕方が弱いことや、紙媒体を読まない若い世代への情報発信について課題がある。今回とよあ券が LINE での配布となったのも、今後 SNS に力を入れていきたいという思いがあることが理由。また、本委員会のように多様な主体者の方々に関わっていただきながら進めている活動についても、市民に伝える方法を模索していきたい。

（委員長）情報を届けたい層に応じて発信の仕方を変えていかなければならない。引き続き、より良い方法を模索していただきたい。

（委 員）目が不自由な方は、今までもなかなか情報が行き届かないことが多かつ

たが、最近の広報紙は、「詳細はホームページへ」という言葉が多く、広報紙を音訳した声の広報だけでは、必要な情報を届けることができず、情報源が少なくなってきた。人によって取得できる情報量の差が、広がってきているように思う。何かいい手立てはないか。

(委員長) 市民に対して親切心をもって方法を考えることが必要。

(事務局) 広報紙は、紙面の都合上ページ数を減らしていることから、紙媒体だけを見ると情報量が減ってきたことは確か。情報が満足に得られないというご意見はごもっともである。例えば、現場のご意見として「こういう内容は、省略せずに記事として掲載してほしい。」など具体的な案があれば、今後教えていただきたい。

- ・成年後見制度利用促進計画について事務局より説明
→質疑応答なし

- ・自殺対策計画について事務局より説明
- ・質疑応答

(委員) 自殺対策に関する活動のうち、トイレットペーパーの設置とはどういうものか。また、どこに置いてあるのか。

(事務局) 令和7年度は、自殺対策に関するイラストが描いてあるトイレットペーパーを、自殺予防週間(9月)に合わせて市役所のトイレやカラットのトイレに設置した。今年度も同時期に市役所とカラットに設置予定。

(委員) 自殺者数は減っているが、中高生の自殺が全国的に増加している。自殺対策基本計画が改正され、子供への対策を重点的に進めることが定められた。子供に対し、困っていることは何でも相談していいんだということをさらに周知してほしい。自殺は、家庭環境の変化、離婚、妊娠・出産などライフイベント発生時のストレスが要因となることが多い。そういった環境が切り替わるタイミングにおいては、市役所へ手続きに行くことがほとんどかと思う。その際、少しでも様子が心配な方がいれば、相談先につなぐなど気にかけてほしい。

- ・再犯防止推進計画について事務局より説明
→質疑応答なし

▶重点施策の実績について

- ・重点施策①について事務局より説明
→質疑応答なし
- ・重点施策②について事務局より説明
→質疑応答なし
- ・重点施策③について事務局より説明
→質疑応答なし

4 その他

- ・事務局より事務連絡
- ・委員会終了後、委員より「本人が助けを求めることを、申し訳ないとか迷惑になっているのではないかなどと思わず、決してためらうことが無いよう、周囲の人の理解の促進も必要である。」と意見あり。